

経営比較分析表（令和4年度決算）

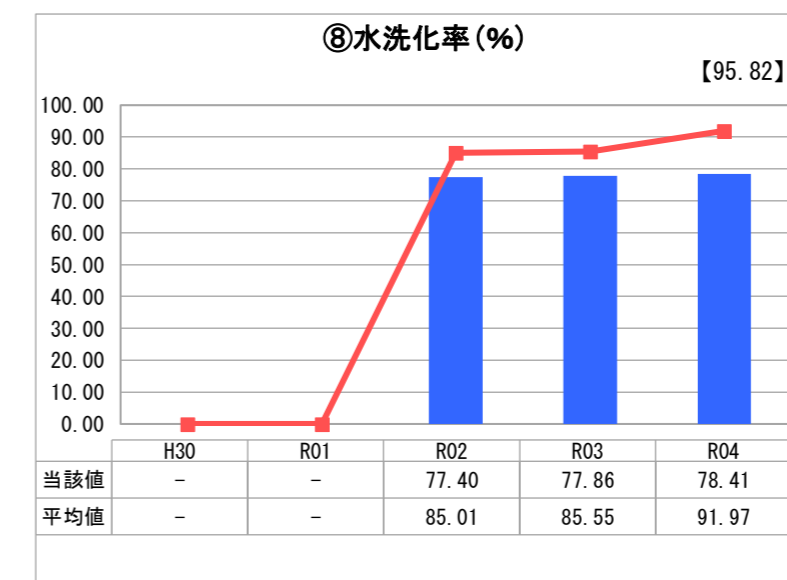
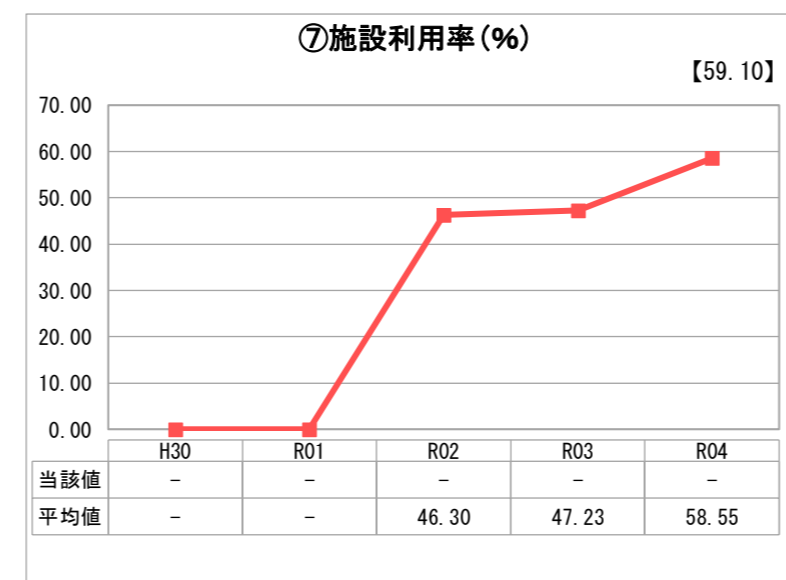
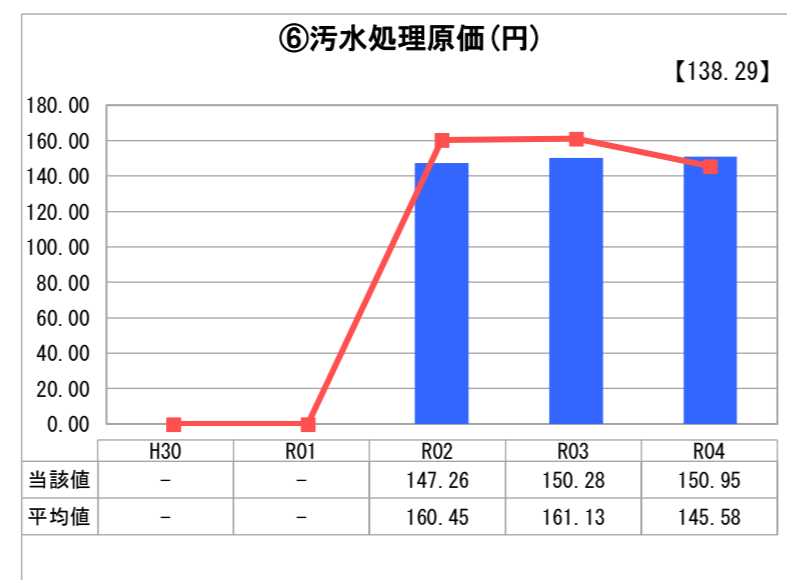
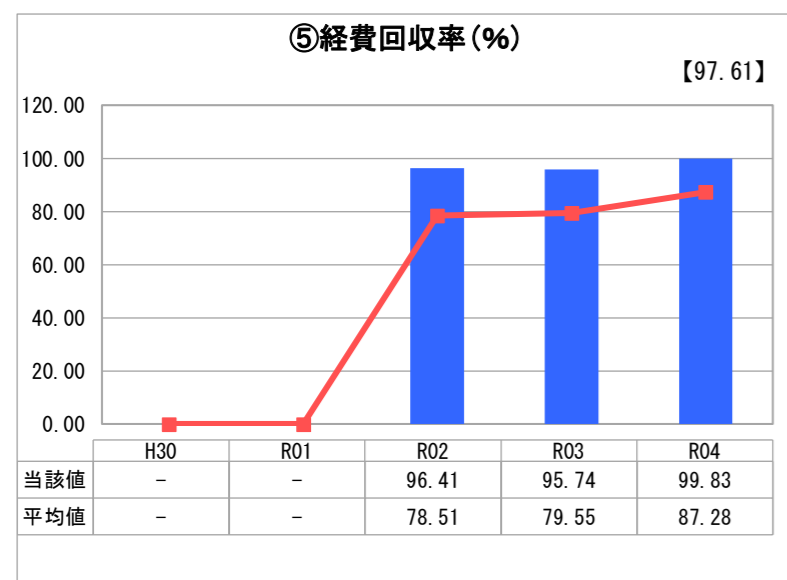
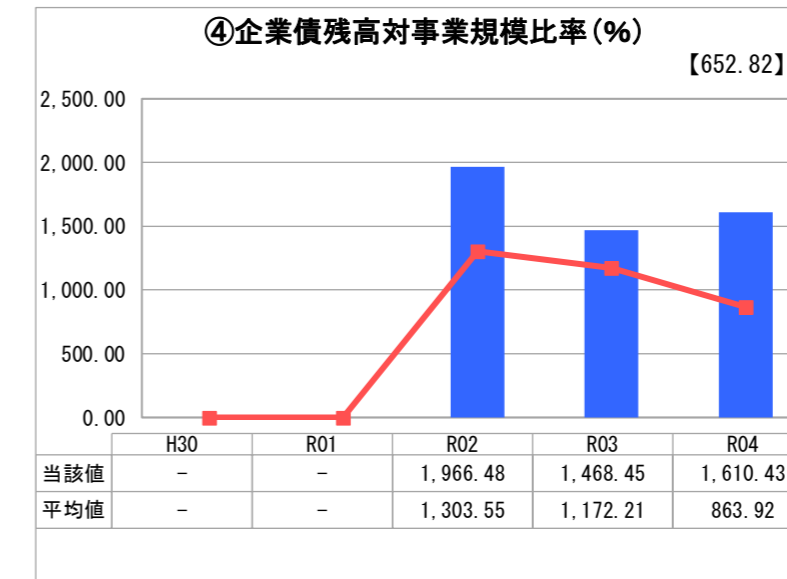
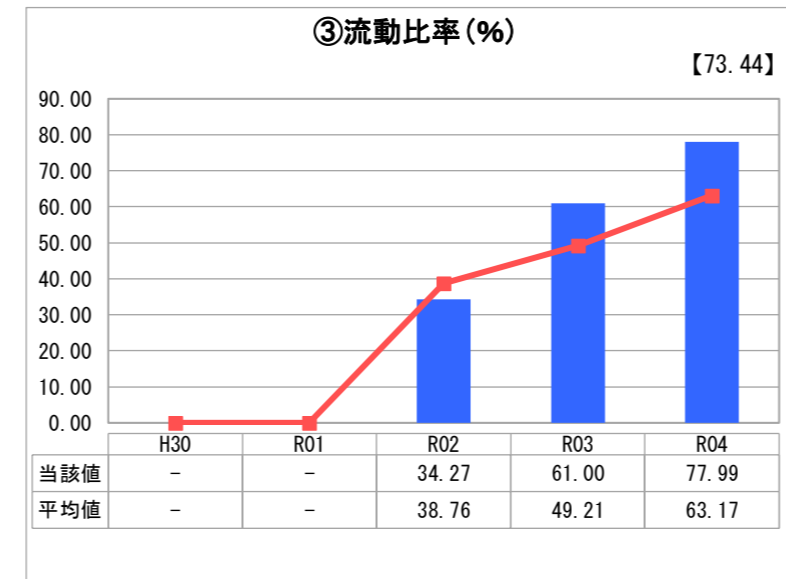
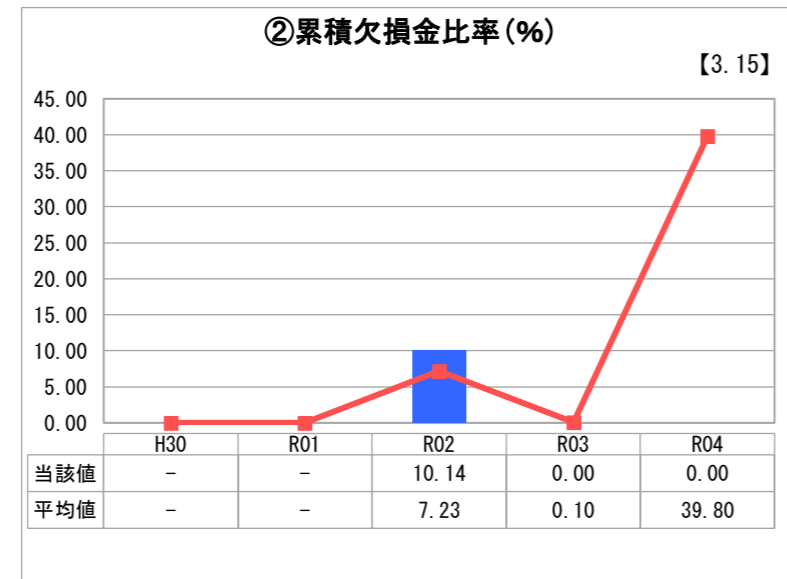
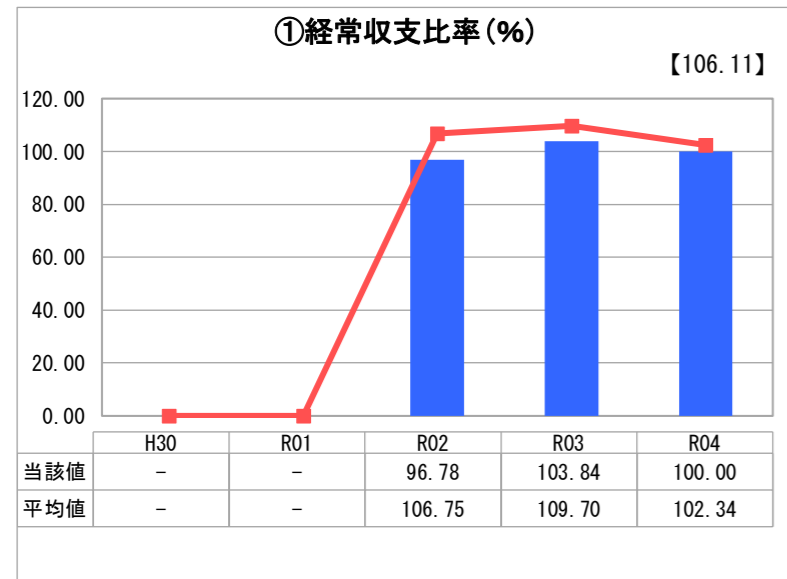
神奈川県 大磯町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	50.56	86.02	90.29	2,687

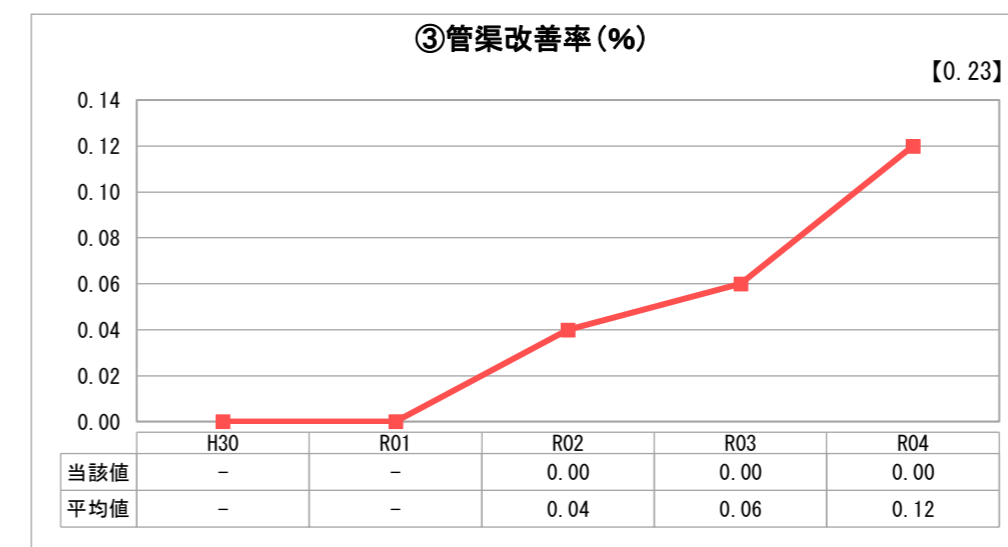
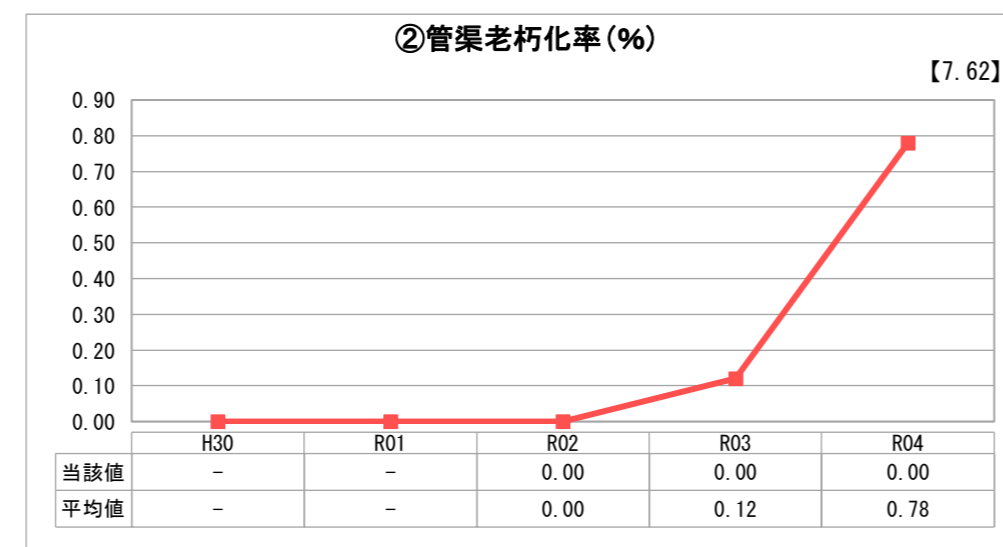
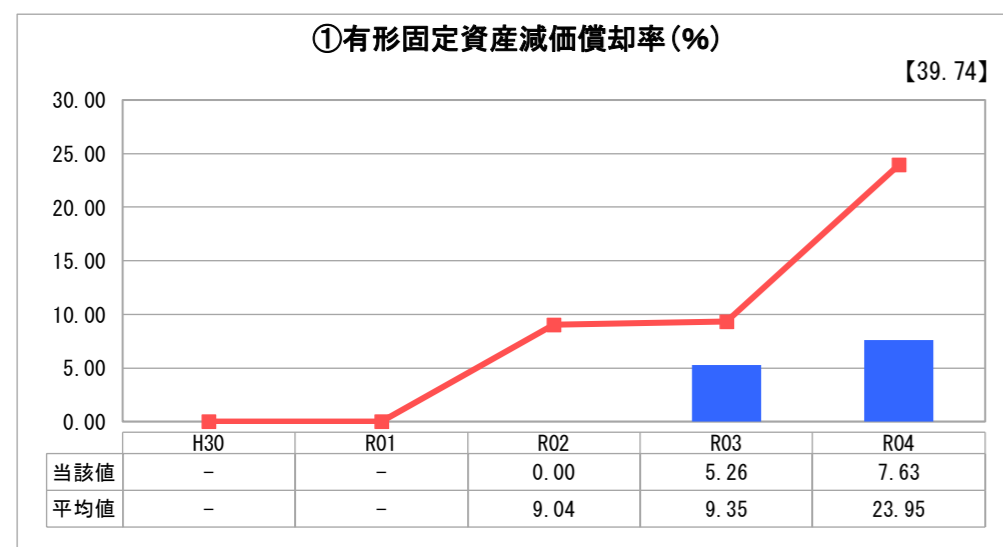
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,265	17.18	1,878.06
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
27,684	4.88	5,672.95

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年4月1日に公営企業会計を適用し、過去2か年分との比較を表示しています。
 ①経常収支比率は100%となっていますが、類似団体平均値や全国平均は下回っている状況です。
 ⑤経費回収率は99.83%と100%に近い状態で、類似団体平均よりも高い水準です。また、④企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値及び全国平均を上回る高い割合となっています。
 公共下水道の概成を迎えるまで整備事業が継続し、今後も企業債残高の増加が見込まれるため、計画的な企業債の償還と、下水道使用料収入が増加する取組みに努める必要があります。
 その一環として、⑧水洗化率が類似団体平均を下回っていることから、下水道未接続世帯に対する戸別訪問の範囲を拡大するなど、接続促進の取組みを強化していきます。

2. 老朽化の状況について

平成2年度より公共下水道工事に着手し、現状では、耐用年数に達する管渠等はなく、②管渠老朽化率や③管渠改善率は0%となっています。
 今後も、ストックマネジメント計画の策定などにより、将来の更新需要の把握に努めます。

全体総括

公共下水道が概成を迎えるまで、企業債残高の増加が見込まれます。また、経費回収率が100%に近い状況にあるなか、今後策定や改定を予定している、ストックマネジメント計画や経営戦略の中で、経営の状況の動向を注視し、健全な運営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。